

各国（日米欧中、アジア等）におけるソフトウェア知財保護

判例ピックアップ (主に日米)

ピックアップした判例として・・・

- ◆日本
29条1項柱書関連
知識データベース事件等
(平成26(行ケ)10014号)

- ◆米国
101条関連
Alice / Digitech /
Planet Bingo / BUYSAFE等



MPFクレーム特許 (米国判決)

※Means-Plus-Function

主な研究テーマとして・・・

- ◆MPF該当性 (112¶6)
クレームにどのような文言／表現を用いるとMPFクレームと判断されるのか？
- ◆明確性 (112¶2)
MPFクレームと判断された場合、
クレームに対応する構造を明細書に
どの程度記載していれば、
不明確との判断を免れ得るのか？

各国パブコメ対応

- 韓国特許庁審査基準におけるプログラム保護に対するパブコメ提出
(アジア戦略PG東アジアWGと連携)
- Alice事件に基づくUSPTOの101条審査ガイドラインへのパブコメ提出
⇒主に“significantly more”の定義があいまいな点を指摘。
⇒審査にバラツキの懸念と、事例や指針の提示を要望としてコメント。
・・・その他、法改正や審査基準など特許庁ほか団体と意見交換会実施

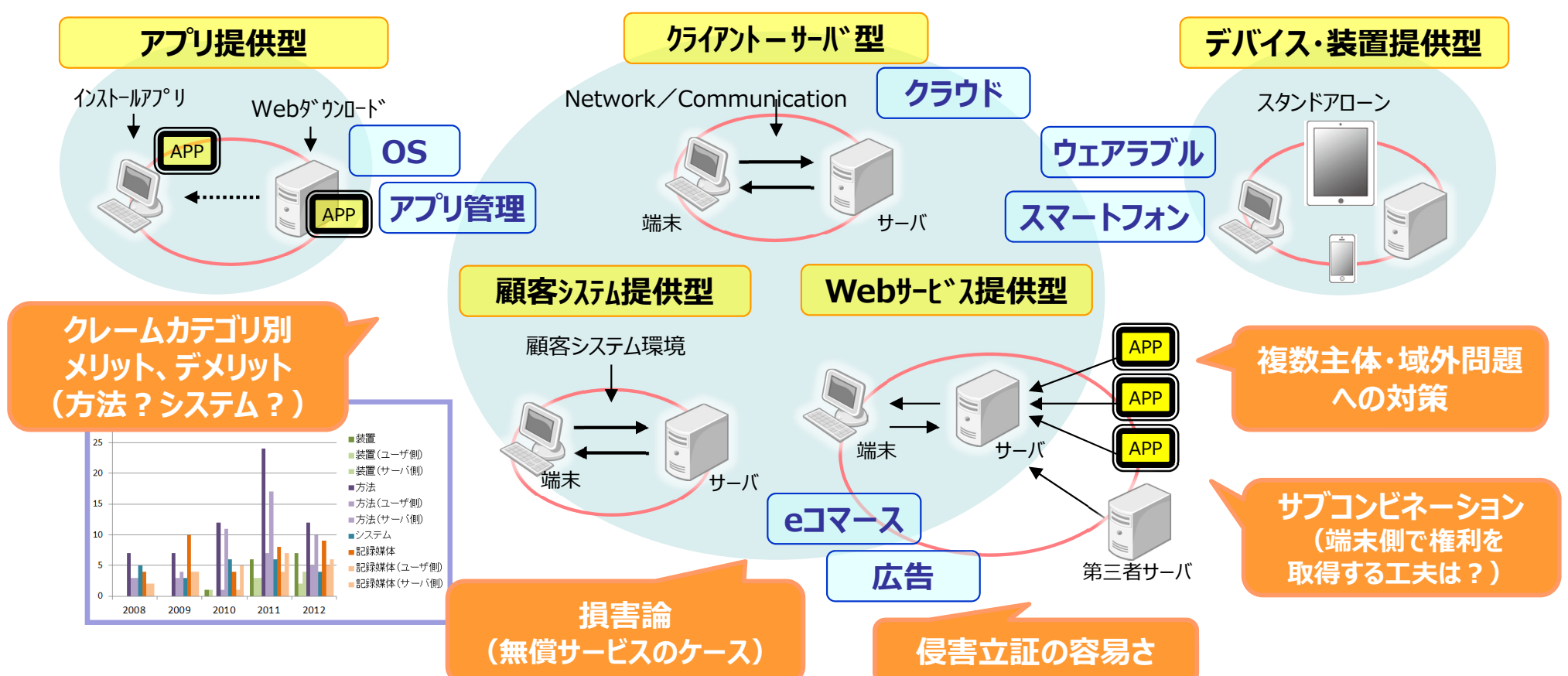
事業形態に応じた出願戦略の方向性に関する調査・研究

事業形態に応じたクレームのあり方とは？

知財管理誌投稿テーマについて

代表的IT企業の事例 (訴訟やライセンス、ビジネス上の注力分野等) をもとに検証

Amazon Google Microsoft Apple

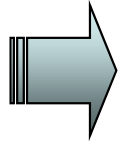


クレームドラフティングに工夫はみられるか？

「サービス・グローバル化時代の事業保護のあり方」に関する研究

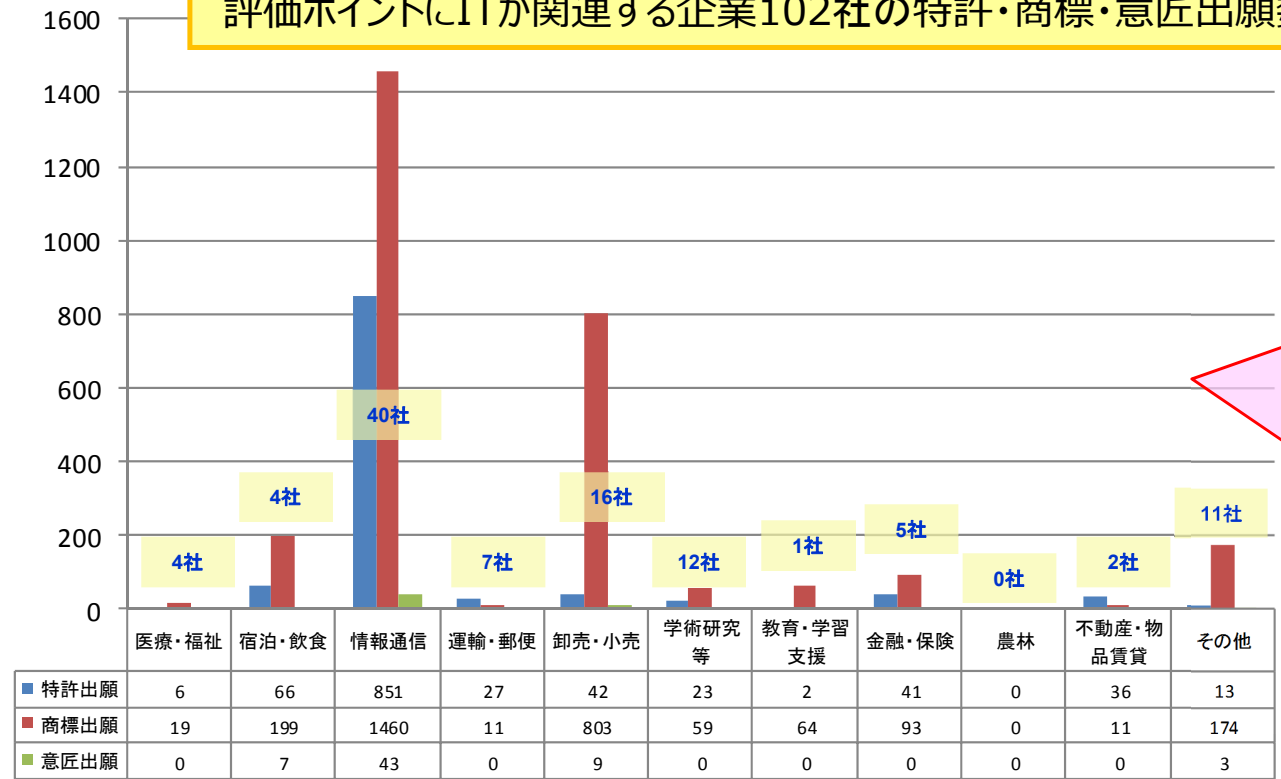
サービスを守るには

ビジネスモデル特許？
要素技術特許？
UI特許？意匠？
ブランド戦略もあるか？



- サービス産業生産性協議会「ハイ・サービス300選」※で選定された企業（269社）を対象にサービスと知的財産権の関係を分析
- 選定企業を業種、サービス提供におけるIT利用の有無で分類。抽出した特許等を収益源、サービス提供時期との関係等様々な観点で整理・分析

評価ポイントにITに関連する企業102社の特許・商標・意匠出願数



※ハイサービス300選とは、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組み（ベストプラクティス）を行っている企業・団体が表彰・公表される。選出は、中小サービス業と、とりわけ先駆的で他の企業の模範となる取り組みを行っている大企業とから、四半期ごとに20～25社選ばれる。

※「情報通信業」の特許と商標の出願件数の差が2倍以下に対し、「運輸・郵便業」「農業・林業」を除く他の業種においては、3倍から10倍の差が見られる。

※IT利用が低い企業も含めると、更に商標出願が増加し、特許出願との差が10倍以上となる。尚、情報通信業についてはITの利用が低い企業が少なくてもあるが、特許と商標の出願の差は依然として2倍以下となっている。

情報通信業で特許出願数が多い他、業種により商標出願件数に大きな違いがみられるなど、知財保護戦略に違いが見られる

ハイサービスの観点

IT利用有の102社を「ハイ・サービス300選」選定評価項目毎に分類し傾向を分析

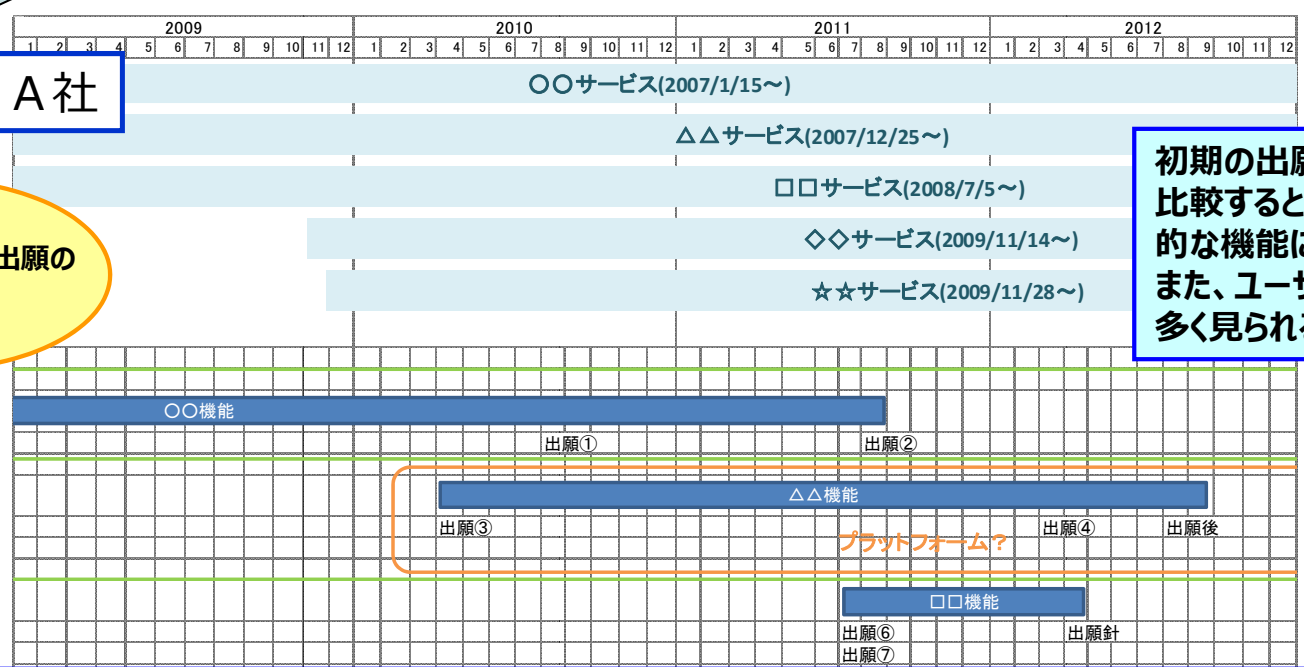
市場特性

	イノベータ型			ニッチスペシャリスト型			マルチプレーヤー型		
	企業名	商標出願	特許出願	企業名	商標出願	特許出願	企業名	商標出願	特許出願
科学的・工学的アプローチ	システム・ロケーション	12	12	ナビタイムジャパン	50	545	アイスタイル	40	2
	ヴァイタス	3	4	マミーズファミリー	7	0	ハー・ストーリィ	14	0
				ビッグ	11	0	プラネット	16	1
サービスプロセスの改善	旬材	3	1	亀田メディカルセンター	12	6	ワイズスタッフ	4	5
	ガリバーインターナショナル	115	9	伊藤忠食品/オークネット	113	18	エコアライアンス	0	1
	サイモンズ	10	4	オイシックス	22	0	ロック・フィールド	53	3
サービスの高付加価値化	ぐるなび	299	55	ニワンゴ	88	204	カルチュア・コンビニエンス・クラブ	383	28
	クックパッド	31	0	インフォマート	74	1	クリーク・アンド・リバー	13	3
	フィデック	6	3	オウケイウェイヴ	48	22	大垣共立銀行	84	30
人材育成				TAC	0	1			
				ワークスアプリケーションズ	13	2			
地域貢献				阿寒グランドホテル	4	0	あわわ	7	0
				シーエムエー	4	0	パシフィックソフトウェア開発	0	2

差別化に寄与という観点から「科学的」「付加価値」の分類に属する企業から4社を選定し特許出願戦略を分析

分析事例：A社

サービスと特許出願の関係を分析



初期の出願とサービス開始以降の出願を比較すると、サービス開始後は最も特徴的な機能に関連する出願が増加している。また、ユーザ操作・サービスに近い出願が多く見られる。

各社の出願実態に基づく出願戦略について知財管理に掲載予定